

株式の状況

(2017年9月30日現在)

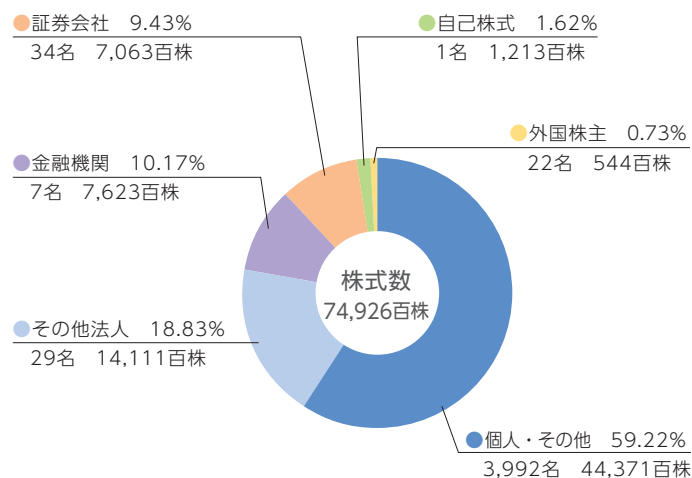
発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式の総数	7,492,652株 (自己株式121,302株を含む)
株主数	4,085名 (前期末比370名増)

大株主

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
若光株式会社	12,233	16.60
株式会社山梨中央銀行	2,680	3.64
若尾 富士男	2,624	3.56
若尾 磯男	2,078	2.82
若尾 政男	1,527	2.07
株式会社みずほ銀行	1,500	2.04
日本証券金融株式会社	1,358	1.84
大和証券株式会社	1,219	1.65
松井証券株式会社	1,213	1.65
リバー従業員持株会	1,204	1.63

(注) 持株比率は、自己株式1,213百株を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して
 定めた日

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)

公告方法 当社ホームページに掲載する。(電子公告)
 <<http://www.river-ele.co.jp/>>
 ただし、事故その他の止むを得ない事由によって電子
 公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載
 して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)

未払い配当金のお支払い、支払い明細等の発行に関するお問い合わせ

お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店及び全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

証券会社でお取引をされている株主様

お手続きお問い合わせ先 お取引のある証券会社

特別口座に登録されている株主様

特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
お手続きお問い合わせ先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座での留意事項	①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続を行う必要があります。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

第73期 2017年4月1日 ～2017年9月30日 中間株主通信

RIVER



リバーエレテック株式会社
証券コード 6666

甲府盆地と富士山

新分野・新用途への展開を視野に入れ、超小型化と高品質への挑戦を続けます

代表取締役社長 若尾富士男



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、中国スマートフォンメーカーの受注が振るわなかったこと、大手海外スマートフォンの新モデル登場を控え、買い替えユーザーの需要が伸び悩んだことが影響し、前年同期とほぼ横ばいの22億43百万円（前年同期比1.1%増）となりました。営業損失は1億86百万円（前年同期は1億36百万円の営業損失）、経常損失は2億9百万円（前年同期は1億93百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億12百万円（前年同期は2億1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

2018年3月期第2四半期連結業績概要

科目	実績	前年同期比
売上高	22億43百万円	1.1%増
営業利益	△1億86百万円	49百万円減
経常利益	△2億9百万円	15百万円減
親会社株主に帰属する四半期純利益	△2億12百万円	11百万円減

セグメント事業別売上高・経常利益（連結）

	売上高	経常利益
水晶製品事業	22億25百万円 前年同期比1.1%増	△2億10百万円 前年同期比13百万円減
その他の電子部品事業	17百万円 前年同期比2.0%増	1百万円 前年同期比62.6%減

水晶製品市場におきましては、携帯電話、自動車関連向け等の需要が緩やかな回復基調で推移しました。当社におきましては、依然として厳しい価格競争等により苦戦を強いられる結果となりました。下期に向けては、世界でも製造できるメーカーが限られている小型の音叉型水晶振動子やATカット水晶振動子「FCX-08」など最先端の製品で、マーケットを絞った拡販活動を展開してまいります。また来年にかけては、当社の独自技術である電子ビーム封止を活用したソリューションを、車載向けの新製品に展開するなど、販売の領域を拡大してまいります。

当期の中間配当金につきましては、株主の皆様へ安定的な配当を継続的にを行うことを経営の最重要課題の一つとしておりますが、当期の業績に鑑み、誠に遺憾ではありますがこれを見送らせていただきます。

株主の皆様には誠に申し訳なく深くお詫び申し上げますとともに、今期の黒字回復を目指し経営努力をいたす所存でございます。なにとぞご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

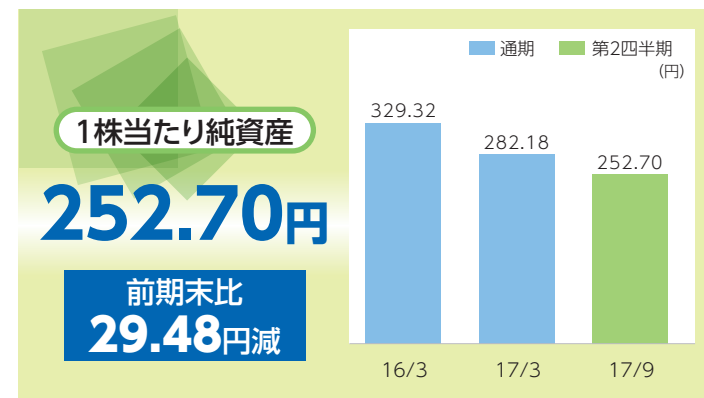
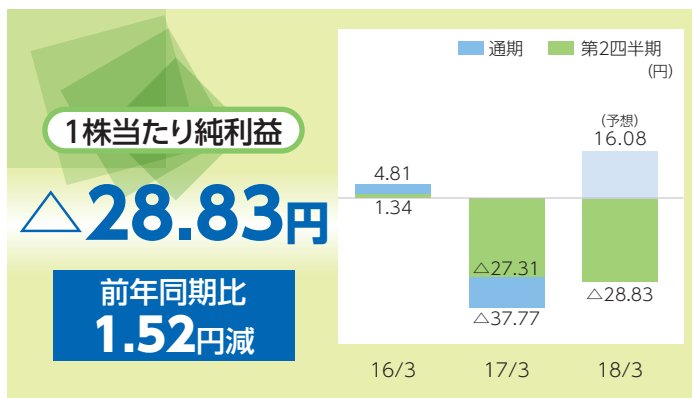
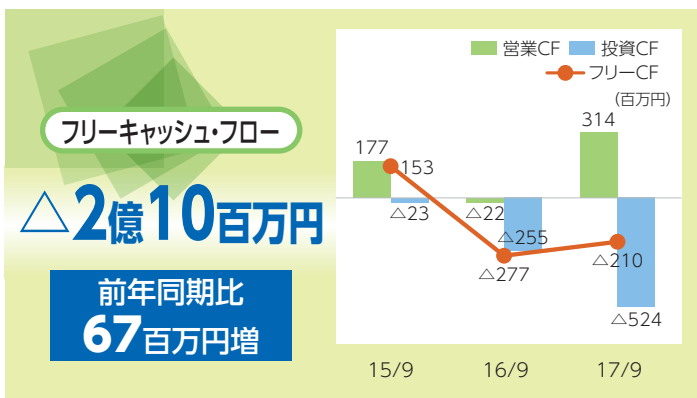
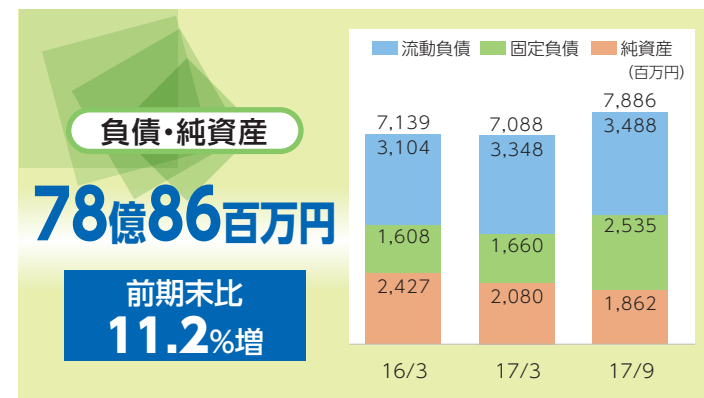
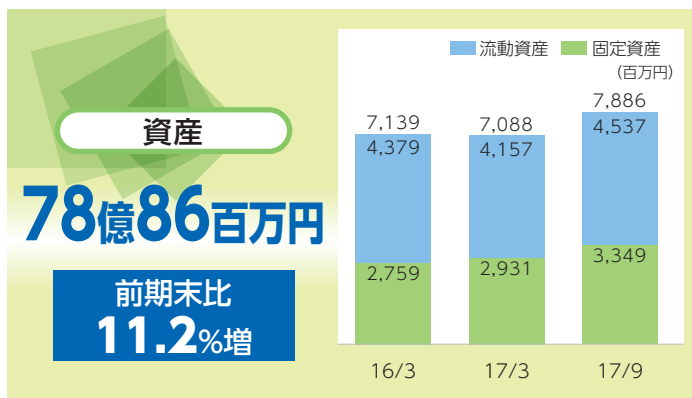
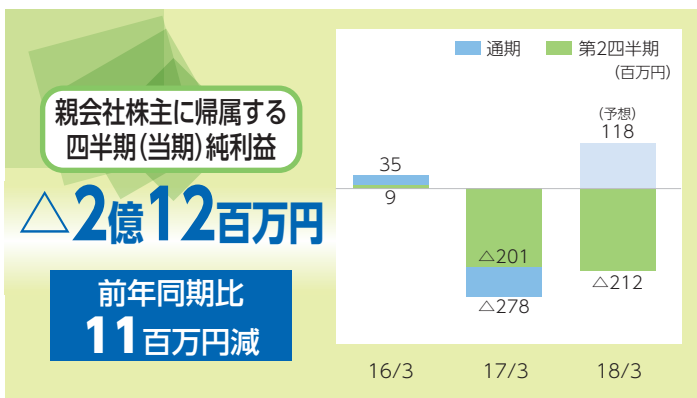
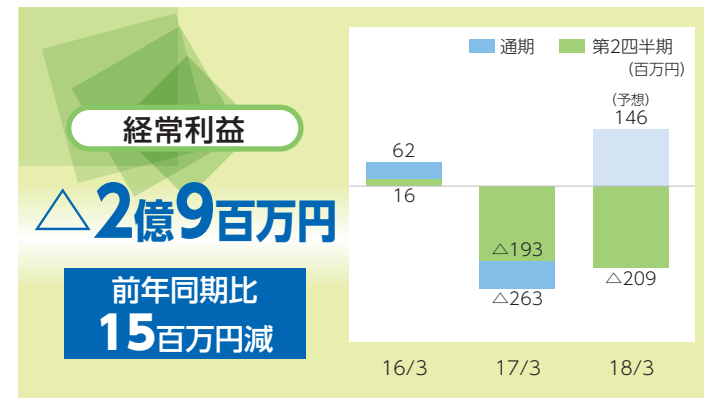
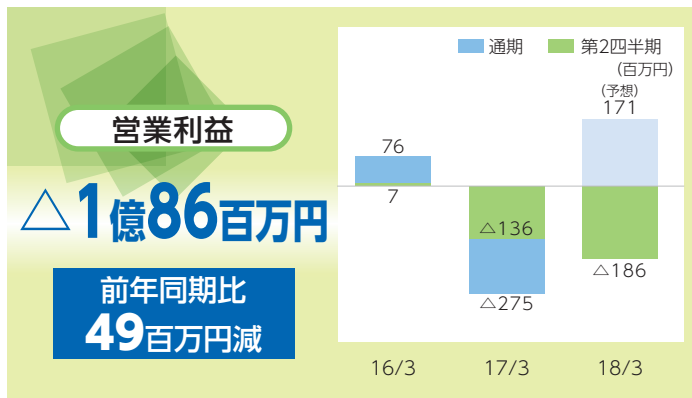
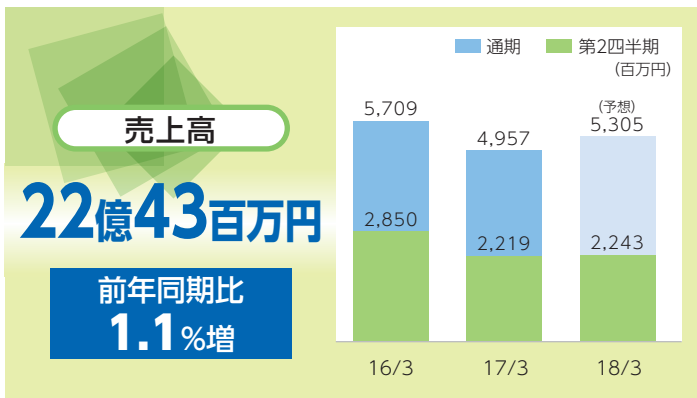
青森リバーテクノでは車力漁港の海岸清掃を実施しました

リバーエレクトック及びグループ会社では、CSR活動の一環として地域社会や環境に配慮した取り組みを行っております。

今期は8月7日、青森県つがる市にある車力漁港の海岸清掃を、青森リバーテクノ車力工場に勤務する社員で行いました。当日は晴天にも恵まれ、海岸周辺のゴミや空き缶などを収集することができました。

青森リバーテクノは、再生資源の積極的な使用や環境保全に関する地域協力など5つから成る取り組みが評価され「地球にやさしい青森県推進事業所」に認定されていますが、今後もリバーグループでは、全社員が地球環境への理解を深め、継続的な活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



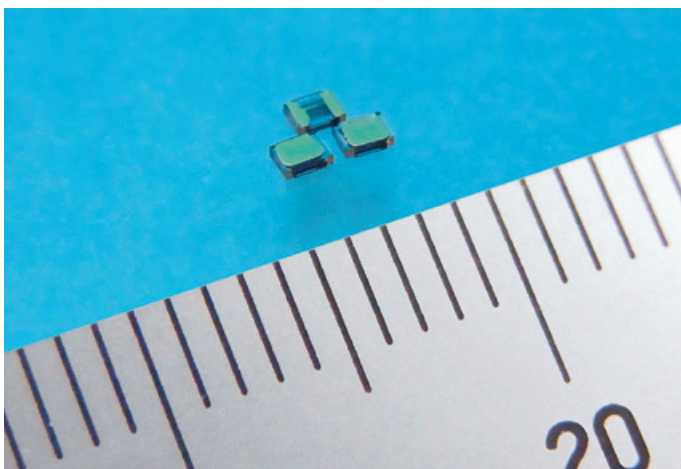


世界最小の 音叉型水晶振動子「TFX-05」

音叉型水晶振動子は、スマートフォンなどの時計のクロック用、スリープモードのクロック用として、世界中の電子機器でたくさん使用されています。近年、製品のさらなる小型化が求められる一方で①パッケージの加工精度の限界、②小型化による容積内部真空度確保の難しさ等の高い障壁がありました。

そこでこれらの問題を解決すべく、従来の電子ビーム封止（EBS）工法に代わって、新たに金属間直接接合（MDS）を開発しました。6月に公表した新製品「TFX-05」は、水晶振動子とパッケージが一体成形されたクリスタルケース（水晶製のパッケージ）を用い、世界最小のサイズ（1.2mm×1.0mm×0.35mm Max.）を実現しています。従来品「TFX-04」と比べ、体積は47%ダウン、投影面積は25%ダウン、重量は75%ダウンと大幅に小型・軽量化されています。

現在サンプル出荷対応をはじめており、ユーザー様からは従来品と同等以上の評価を得ています。今後は、スマートフォン、無線モジュール、ウェアラブル機器等の小型・薄型・軽量設計が必要な用途から時計の精度が必要とされる用途にまで幅広い分野で活躍が期待されます。



次世代センサ・アクチュエータ委員会で 「TFX-05」に関する技術講演を行いました

7月14日、東京大学本郷キャンパスにおいて、「次世代センサ・アクチュエータ委員会 第11回定期講習会」が開催されました。リバーエレクトックは、「金属間直接接合（MDS）を用いた超小型音叉型水晶振動子の開発」について講演を行いました。超小型アクチュエータ・センサをはじめとして、ヘルスマonitoringシステム、医療超音波技術、エナジーハーベスティング等の応用技術や、セラミック、薄膜、ナノ構造体などの材料基盤技術に関する研究交流や、産学間のコミュニケーションを目的とする当委員会は、多くの企業や大学が参加していますが、調査研究や発表・意見交換ができる意味は大きく、今後も業界の発展と魅力的なモノづくりに邁進してまいります。



会社概要

(2017年9月30日現在)

商号	リバーエレクトック株式会社 RIVER ELETEC CORPORATION		
設立	1951年3月9日		
資本金	10億7,052万円		
従業員数	87名		
役員	代表取締役社長	若尾	富士男
	常務取締役	三枝	康孝
	常務取締役	萩原	義久
	取締役	高保	謙治
	社外取締役	武井	義孝
	常勤監査役	古屋	延行
	社外監査役	越智	大藏
	社外監査役	野村	裕

事業所

本社	〒407-8502 山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1番11号
東京営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目40番14号
大阪営業所	〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1丁目3番2号 新近藤ビル3F

リバーグループ（子会社の状況）

会社名	資本金	議決権比率(%)	事業内容
青森リバーテクノ株式会社	千円 50,000	100	電子部品の製造
台湾利巴股份有限公司	千台湾元 19,200	100	電子部品の販売
River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.	千米ドル 123	100	電子部品の販売
River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.	千マレーシアリンギット 25,400	100	電子部品の製造
西安大河晶振科技有限公司	千元 38,255	100	電子部品の製造・販売